

科目名	HIP HOP 4							年度	2025
英語科目名	HIP HOP 4							学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	KOTA		教員の実務経験	有	実務経験の職種		プロダンサー		
【科目の目的】									
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作ります。また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。									
【科目の概要】									
この科目ではヒップホップで使用する基本的な身体の動きや身体の使い方を習得します。身体の各部位を意識して動かす事で、ヒップホップのムーブメントの細かな部分まで表現ができるようになる事を目的とします。また自分の身体の可動域を広げ、自由に身体を動かせる筋力・柔軟性を身に付けるよう反復練習を行います。迫力のある表現をできるようになる事を目的とします。									
【到達目標】									
A. 各部位のアイソレーション技術を理解、習得する。 B. アップダウンの動きを理解し音楽に対してリズムキープができる。 C. HIPHOPの基礎的なステップを理解、習得する。 D. 振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付ける。									
【授業の注意点】									
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は単位取得が出来ない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。				
到達目標 B	受講態度も良くアップダウンの動きを理解し音楽に対してリズムキープができる	受講態度も良くアップダウンの動きを理解、習得している。	アップダウンの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	アップダウンの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くアップダウンの動きの理解、習得度が出来ない。				
到達目標 C	受講態度も良くHIPHOPの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くHIPHOPの基礎的なステップをやや理解、習得している。	HIPHOPの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	HIPHOPの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くHIPHOPの基礎的なステップの理解、習得ができていない。				
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けているが受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。				
【教科書】									
なし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する							
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する							
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する							
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		HIP HOP 4			年度	2025
英語表記		HIP HOP 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	振付の応用	振付に構成を付ける	1 構成	課題曲振付の構成を習得する1	2	
			2 構成	課題曲振付の構成を習得する2		
			3 構成	課題曲振付の構成を習得する3		
2	振付の応用	振付に構成を付ける	1 構成	課題曲振付の構成を習得する4	2	
			2 構成	課題曲振付の構成を習得する5		
			3 構成	課題曲振付の構成を習得する6		
3	グループ	曲に合わせたグループの習得	1 グループの習得	曲調に合わせた表現を磨く1	2	
			2 グループの習得	曲調に合わせた表現を磨く2		
			3 グループの習得	曲調に合わせた表現を磨く3		
4	グループ	曲に合わせたグループの習得	1 グループの習得	曲調に合わせた表現を磨く4	2	
			2 グループの習得	曲調に合わせた表現を磨く5		
			3 グループの習得	曲調に合わせた表現を磨く6		
5	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	オリジナル作品振り入れ1	2	
			2 リハーサル	オリジナル作品振り入れ2		
			3 リハーサル	オリジナル作品振り入れ3		
6	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	オリジナル作品振り入れ4	2	
			2 リハーサル	オリジナル作品振り入れ5		
			3 リハーサル	オリジナル作品振り入れ6		
7	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	オリジナル作品振り入れ7	2	
			2 リハーサル	オリジナル作品振り入れ8		
			3 リハーサル	オリジナル作品振り入れ9		
8	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	オリジナル作品構成1	2	
			2 リハーサル	オリジナル作品構成2		
			3 リハーサル	オリジナル作品構成3		
9	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	オリジナル作品構成4	2	
			2 リハーサル	オリジナル作品構成5		
			3 リハーサル	オリジナル作品構成6		
10	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得1	2	
			2 リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得2		
			3 リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得3		
11	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1 リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得4	2	
			2 リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得5		
			3 リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得6		
12	作品発表	場当り	1 場当り	実寸アクティングエリアでの動作確認1	2	
			2 場当り	実寸アクティングエリアでの動作確認2		
			3 場当り	実寸アクティングエリアでの動作確認3		
13	作品発表	照明リハーサル	1 照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認1	2	
			2 照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認2		
			3 照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認3		
14	作品発表	ステージ上でのパフォーマンス研究	1 パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス1	2	
			2 パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス2		
			3 パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス3		
15	振り返り	1年次の振り返り	1 基礎振り返り	基礎の習得度確認リズム	2	
			2 基礎振り返り	基礎の習得度確認アイソレーション		
			3 基礎振り返り	基礎の習得度確認ステップ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等